

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 住吉区

学 校 名 墨江小学校

学校長名 伊藤 博美

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・墨江小学校では、第6学年 96名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

全体的にみると、国語科では7.2ポイント、算数科では7ポイント、理科では1.9ポイント全国平均を上回る成績であった。

国語科の内容別にみても、全てにおいて全国平均を上回っているが、特に「話すこと聞くこと」「読むこと」「言葉の特徴」でよい成績となっている。

算数科においても、全ての内容で、全国平均を5ポイント以上上回る成績であり、「変化と関係」「図形」「測定」がよい成績であった。

理科では、「粒子」で全国平均を下回っているが、それ以外の内容では上回ることができた。

このことから、本校の6年生の児童は、おおむね学習内容を理解していると考えることができる。問題形式では、特に記述式問題での正答率が高く、平均無回答率も大変低いことから、記述式の難しい課題であってもあきらめずに取り組む態度も育っていると考ええる。

回答状況整理票の分析からは、正答が比較的容易だと考えられる問題のケアレスミスも多くみられる。

全体としての、得点分布をみると、大きな2極化は解消されてきており、全国に比べて低い割合ではあるが、国語科では7%（全国17.8%）、算数科では12.6%（全国20.1%）が第Ⅳ区分（学力に課題のみられる児童の割合）となっている状況である。

児童質問では「自分にはよいところがある」91.7%、「将来の夢や目標を持っている」92.9%、「学校に行くのは楽しい」92.9%と肯定的な回答が多い結果となっている。一方で「読書は好き」69.1%、「課題解決に自分で考え自分で取り組んでいる」73.8%、「自分で学び方を考え、工夫できている」84.5%、「話し合う活動で自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたりできている」86.9%となっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

本校の6年生は、これまで第Ⅳ区分の割合が高く、全体的な底上げを課題として取り組んできた。国語科では漢検の取組、算数科では習熟度別や少人数での学習、放課後を活用しての補充学習など基礎的な学習内容の定着に力を入れてきた。その結果が第Ⅳ区分の減少につながっていると考えられる。

また平均無回答率が国語科0.4%（全国3.3%）、0.3%（全国3.6%）、0.1%（全国2.8%）と大変低くなっていることも、普段の学習から自分の考えをもち、解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を大事にして進めてきたことも大きな要因であろう。

一方課題としては、国語科の「書くこと」「情報の扱い方」が他の内容に比べ低くなっていることから、今後は授業やその他の活動においても、目的や意図に応じて、文章全体の構成や展開を考えながら、様々な文章を書くことや、原因や結果など情報と情報とを関係づけながら読むことなどにさらに取り組む機会を多くしていかなければならない。

質問調査より

児童質問より、本校の児童は、基本的な生活習慣もほぼ身につけており、規範意識や人の役に立ちたいという意識なども高いといえるが、ここ数年の傾向として、スマホやゲーム、パソコンなどの影響で就寝時刻が遅くなり、朝食の喫食や睡眠時間などに課題のある児童が増えてきている。

学校での学習については、本年度より国語科を研究教科として「対話による学び合い」を研究主題に設定して取り組んできている。その中で話し合いに重点を置き、自分の考えを深めたり新たな考えを生み出せたりできるよう工夫してきた。また学校全体でのポジティブ行動支援にも取り組み出している。その結果、自己肯定感や達成感を感じている児童は増えてきており、話し合い活動や課題解決のための様々な活動に積極的に取り組む姿がみられるようになってきた。

読書に関しては、ゲームやSNSに時間を費やすことが増え、自宅で読書をしている児童は少なく、読書習慣については、大きく二極化がみられることが課題である。

今後の取組(アクションプラン)

○主体的、対話的で深い学びの実現へと授業改善の組織的取組

- ・国語科の研究において、これまで教師主導であった学習を改善し、対話を中心に児童が主体的に課題解決できるよう授業形態や発問を工夫してきており、今後もさらに教師がコーディネーターとなって児童の学びが深まる授業を目指し研究を推進していく。
- ・児童一人一人が主体的にまた個別に学習を進めるためのツールとして、授業の中でICTの活用を工夫する。

○学校全体でのポジティブ行動支援の取組

- ・児童会を中心に、児童が主体的に「学校をよりよくする」「学校を楽しくする」ための活動に取り組めるようポジティブ行動支援をさらに推進していく。
- ・各学級におけるポジティブ行動支援として明確な目標設定とポジティブなフィードバックを実践する。

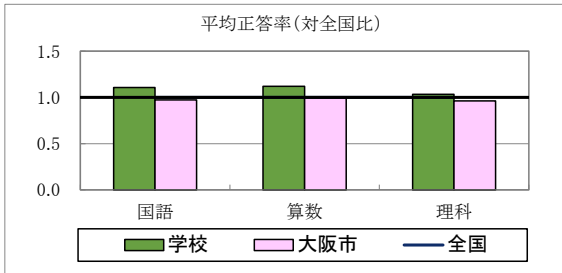
○児童が本に親しむ機会を増やすための読書活動の推進

- ・「本が児童に近づく」をコンセプトに図書室以外にも読書できる場所の設置・時間の設定
- ・国語科と連動した並行読書の取組

【 全体の概要 】

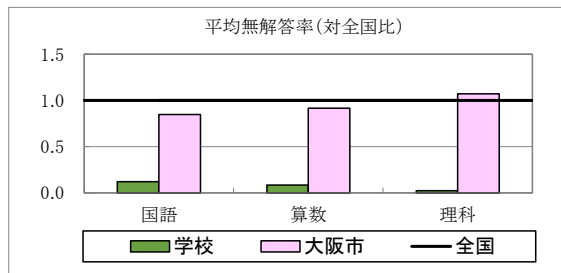
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	74	65	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	0.4	0.3	0.1
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



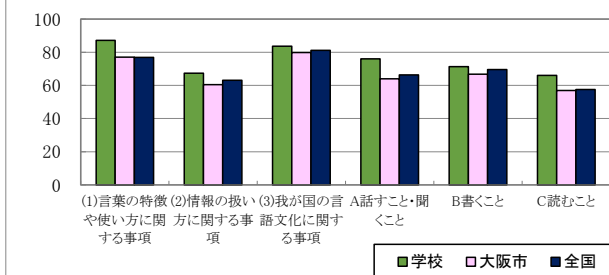
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	87.2	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	67.4	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	83.7	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	76.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	71.3	66.7	69.5
C 読むこと	4	66.0	56.9	57.5

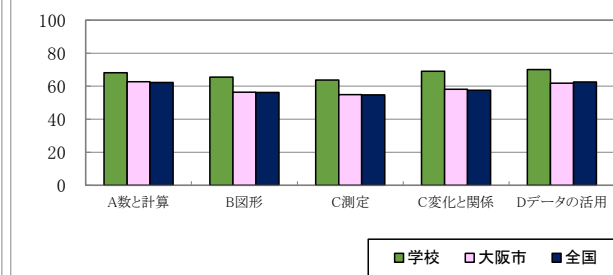
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	68.2	62.7	62.3
B 図形	4	65.5	56.4	56.2
C 測定	2	63.8	54.9	54.8
C 変化と関係	3	69.0	58.2	57.5
D データの活用	5	70.1	61.9	62.6

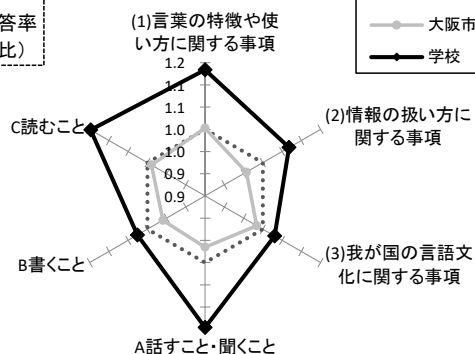
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



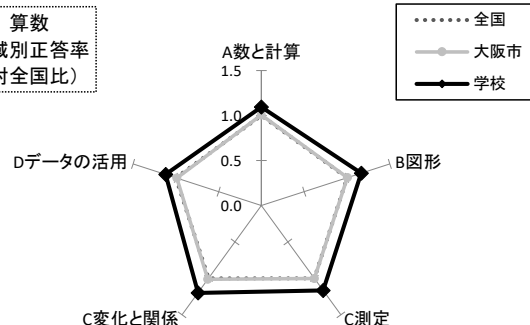
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

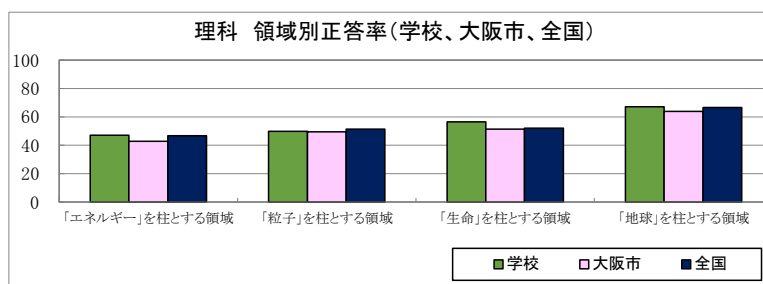


算数
領域別正答率
(対全国比)

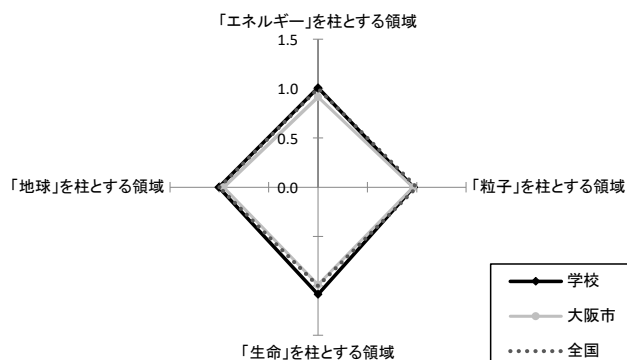


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	47.1	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	49.8	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	56.5	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	67.1	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

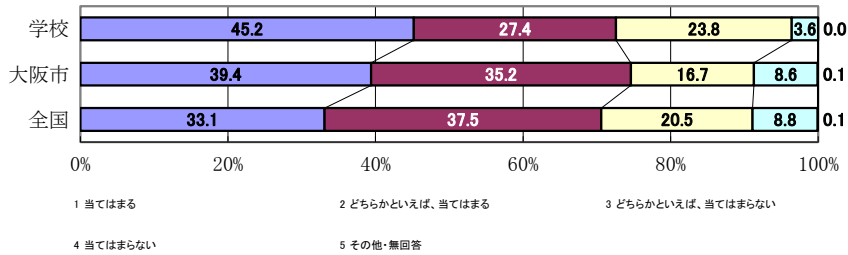
質問番号

質問事項

10

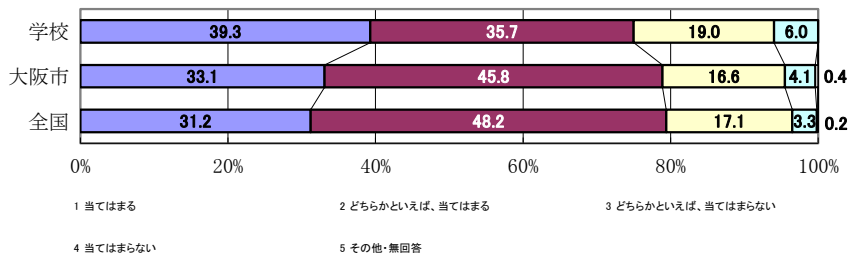
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

1 2 3 4 5 6 7 8



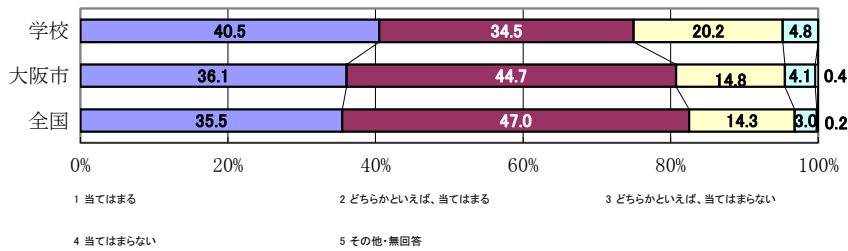
36

学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか



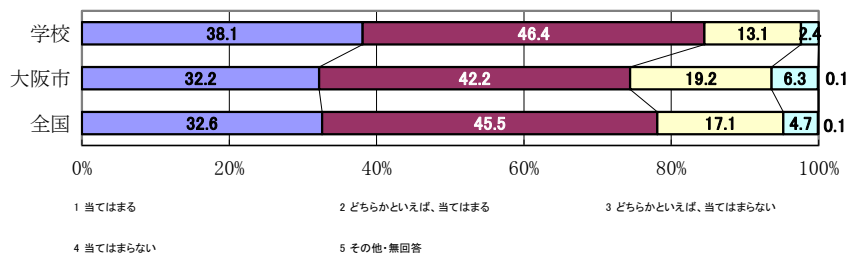
37

授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか



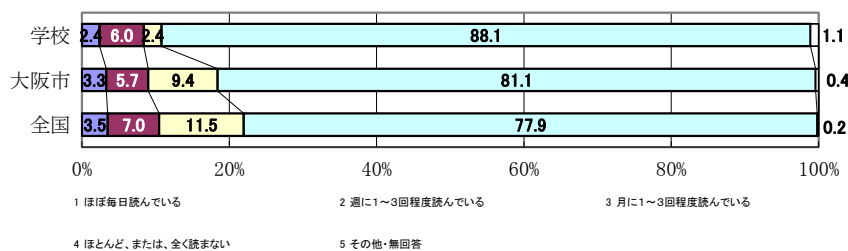
13

自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



23

新聞を読んでいますか



児童質問より

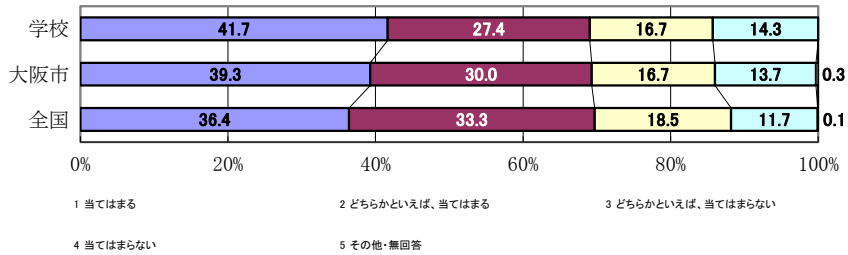
質問番号

質問事項

24

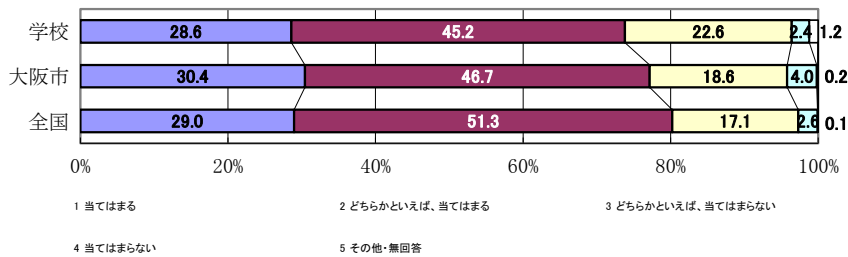
読書は好きですか

1 2 3 4 5 6 7 8



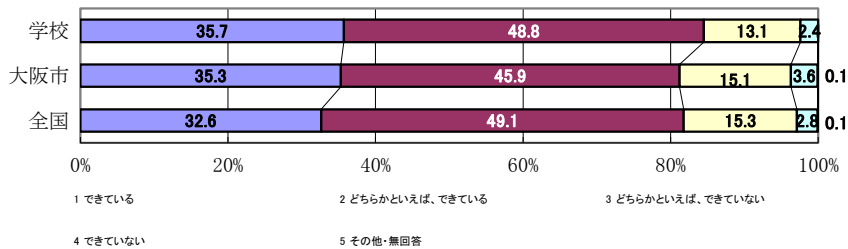
32

5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



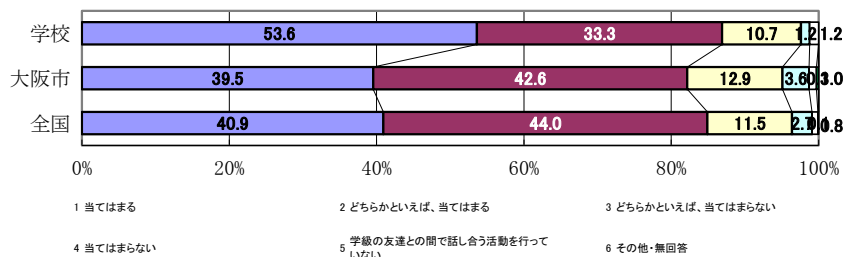
16

分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



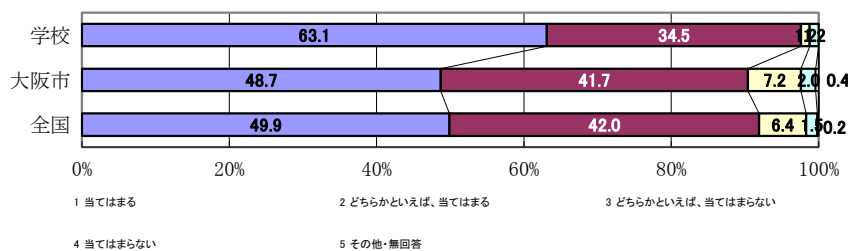
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



39

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



児童質問より

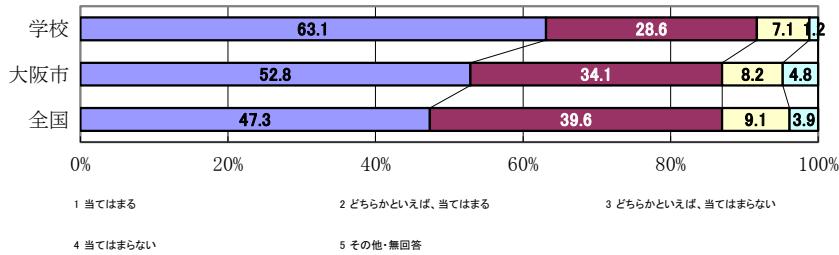
質問番号

質問事項

5

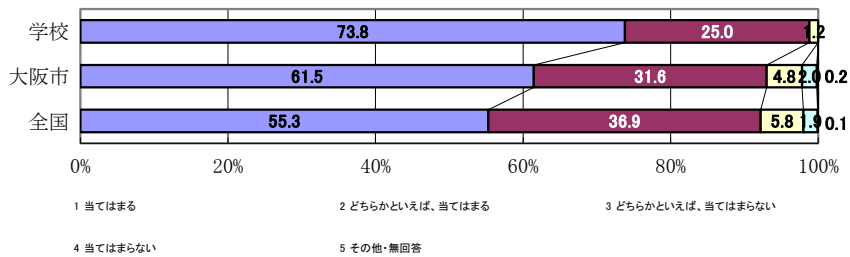
自分には、よいところがあると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



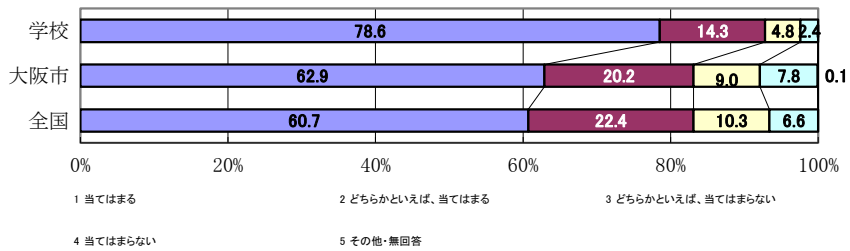
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



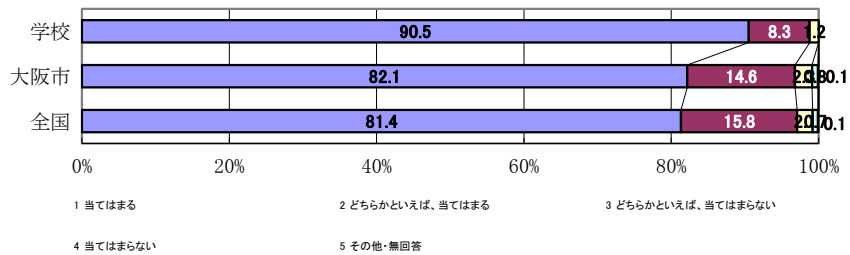
7

将来の夢や目標を持っていますか



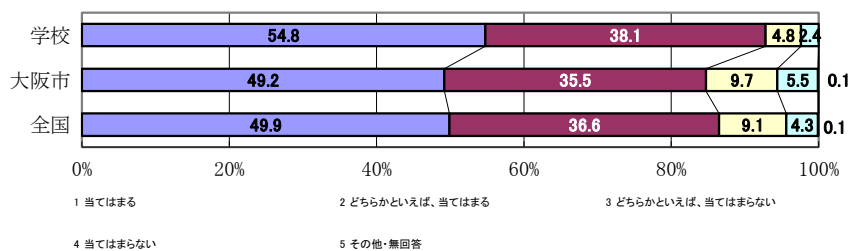
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



12

学校に行くのは楽しいと思いますか



学校質問より

質問番号

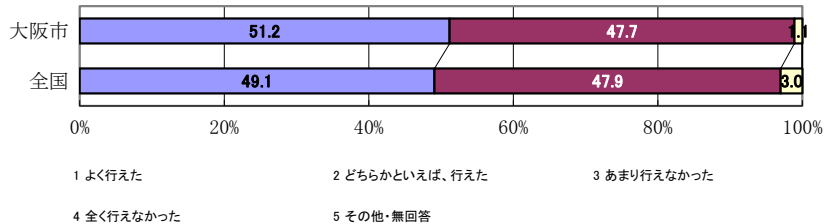
質問事項

48

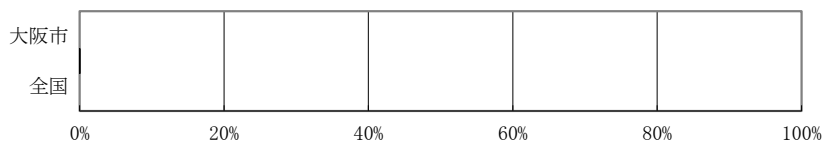
調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

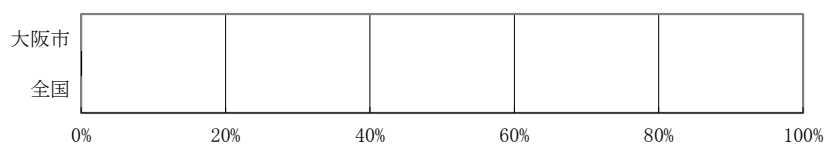
学校 「よく行えた」を選択



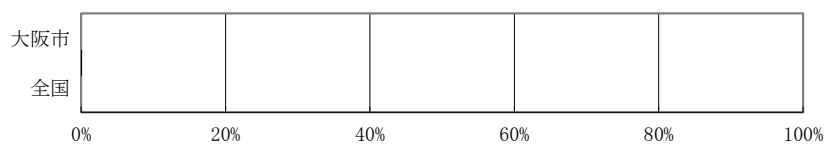
学校 「」を選択



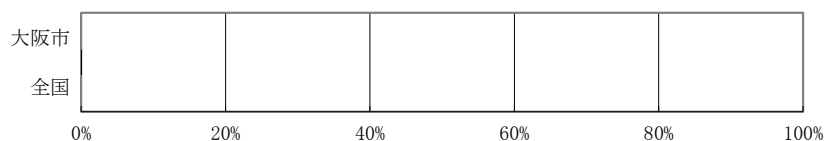
学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択



学校質問より

質問番号

質問事項

25

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

32

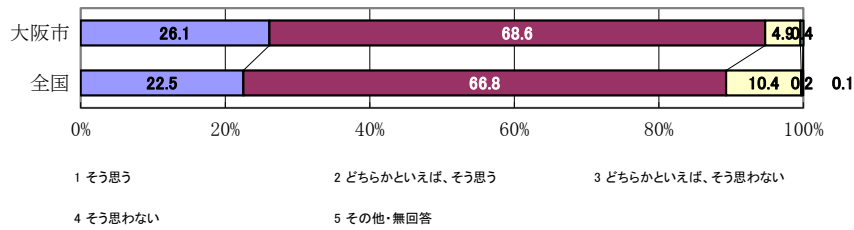
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

47

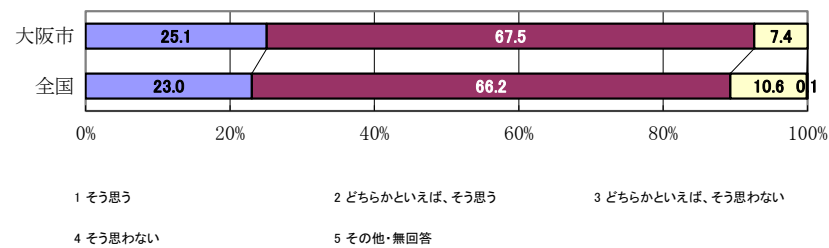
調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

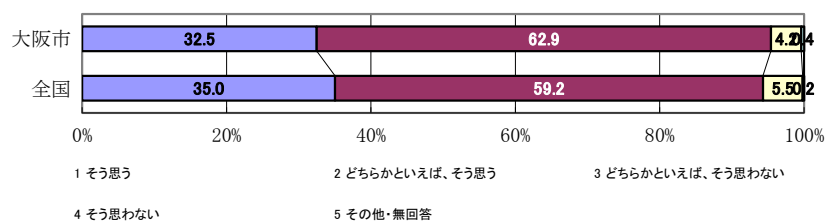
学校 「そう思う」を選択



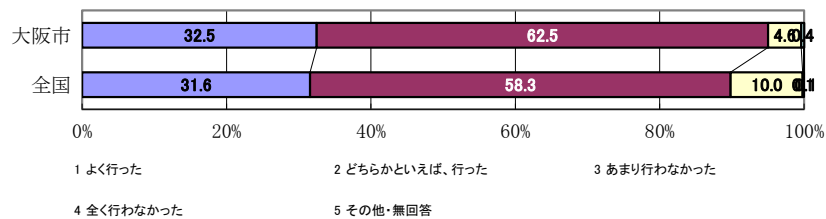
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



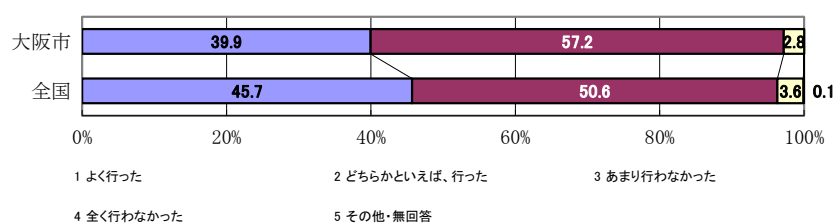
学校 「そう思う」を選択



学校 「よく行った」を選択



学校 「よく行った」を選択



学校質問より

質問番号

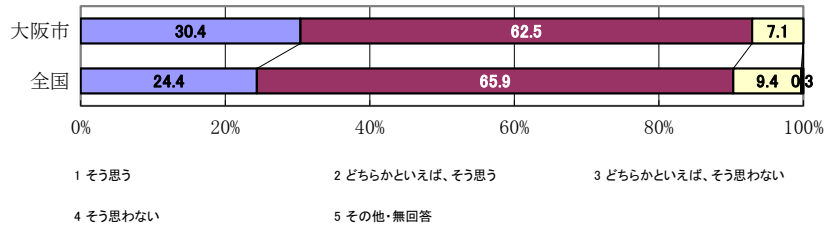
質問事項

7

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

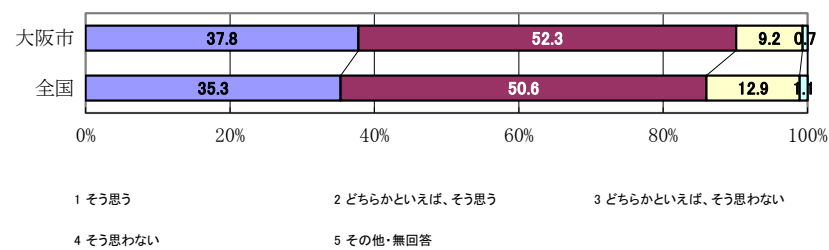
学校 「そう思う」を選択



8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

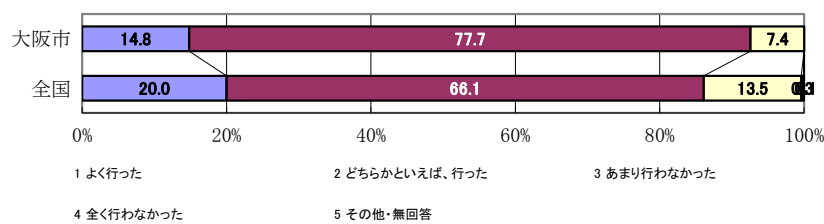
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

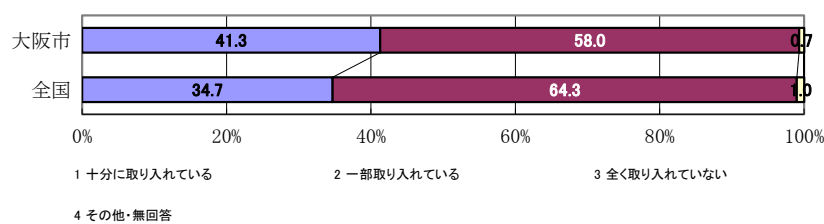
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

学校 「一部取り入れている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択

